

Recherche 00355 クレセントカーディガン仕様書

ニット用

パターンパーツ数 9

～付属品～

接着芯

留め具

サイズ	80	90	100	110	120	130	140	150	
着丈	40.3	43	45.3	47.3	49	52.2	55.7	59	
バスト	27	30	33	35	37	39	41	43	
用尺	110巾	80	90	105	115	125	155	165	175
	150巾	65	75	80	85	95	115	125	135

オリジナルパターン・仕様書の著作権・販売権は Recherche が所有しています。
いかなる理由であっても、オリジナルパターン・仕様書の無断転用・複写・流用及び転
売はご遠慮ください。

■ 用語

CF(センターフロント).....前中心

CB(センターバック).....後中心

SL(ショルダーライン).....肩線

AH(アームホール).....袖ぐり

SNP(ショルダーネックポイント).....肩線の衿側

空ロック.....布端処理等に用いる、縫い合わせをしないロック

コバステッチ.....1~2 mmの端ミシン

■ 裁断前に必ず地直しを行ってください。

■ 二本針四本糸ロックミシン使用を想定しています。それ以外の場合は着用し辛くなったり、糸切れの原因になりますのでご注意ください。

パターンには芯を貼る位置やステッチの巾等の指示が書いてありますので、本仕様書と共に確認しながら作業を進めてください。

----- 準備 -----

裁断

地の目線を確認し、生地の方角や伸びに注意しながら裁断します。

※二重仕立てや一重ショート丈にする場合、ショート丈ポケットを裁断します。

※ロング丈を一重で作る場合は、ロング丈ポケットを裁断します。

ノッチ(合印)を入れます

※ノッチとは、縫い代に0.2~0.3 cmほどの切り込みを入れることです。

※ノッチを深く入れすぎるとほつれやすくなりますので注意します。(素材によってはチャコや切りつけをします。)

※各所縫い合わせの時はこのノッチどうしを合わせます。

接着芯を貼ります(※本仕様書では省略しています。)

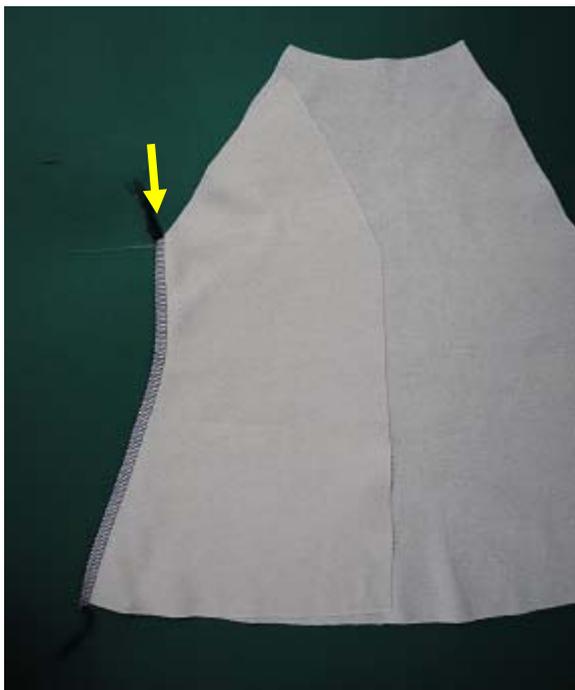
「前立ての留め具部分(パターンに指示有り)」と「前・後ポケット口」に接着芯を貼ります。

作り方

外側になる身頃

～ポケットを付けない場合～

「外側になる前身頃の脇」と「外側になる後身頃の脇」を中表に重ね、5 mm切り落としながら5 mm巾ロックをかけます。



～ポケットを付ける場合～

※二重仕立てにする場合は外側の身頃にポケットを付けます。
※ポケットの中袋は内側の身頃と外側の身頃の間挟まります。

「外側になる前身頃」の脇に、3 mm切り落としながら5 mm巾の空ロックをかけます。
同様に「外側になる後身頃」の脇に、3 mm切り落としながら5 mm巾の空ロックをかけます。
下記 URL を参照し、シームポケットを縫います。

<http://www.recherche.ne.jp/recherche001.pdf>

内側になる身頃

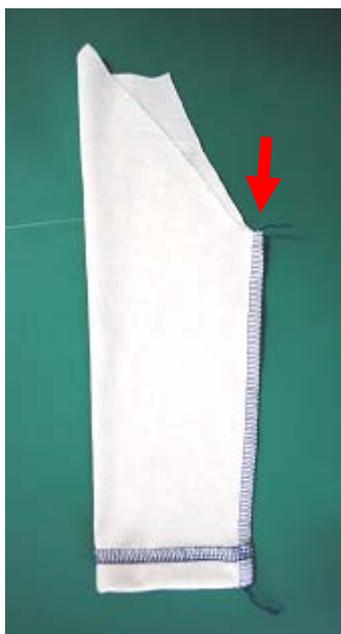
「内側になる前身頃の脇」と「内側になる後身頃の脇」を中表に重ね、5 mm切り落としながら5 mm巾ロックをかけます。



袖

～袖口パーツを付けない長袖・半袖・フレー袖の場合～
「袖の袖口」を3 mm切り落としながら5 mm巾の空ロックをかけます。
出来垂が線で折り、ステッチをかけます。

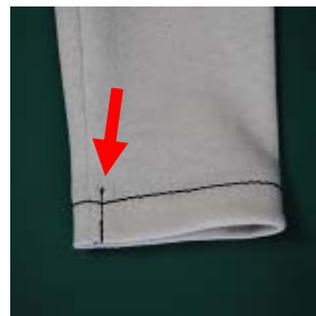




「袖」を中表に重ね、5 mm切り落としながら袖下に 5 mm巾ロックをかけます。

袖口を出来上がり線で折り、ステッチをかけます。

縫い代を後に倒し、直線ミシンで押さえます。



～袖口パーツを付ける場合(長袖のみ)～

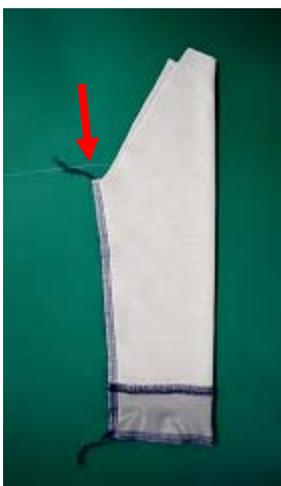
「袖」と「袖口布」を中表に重ね、5 mm切り落としながら 5 mm巾ロックをかけます。

出来上がり線で折り、ステッチをかけます。





「袖口布の袖口」を 3 mm 切り落としながら 5 mm 巾の空ロックをかけます。



「袖」を中表に重ね、5 mm 切り落としながら「袖下」に 5 mm 巾ロックをかけます。



表に反し、「袖口布」を出来上がり線で折り、ステッチをかけます。

袖付け

「内側になる身頃」をおもて面が上になるように置き、その上に「外側になる身頃」をおもて面が上になるように重ねます。



「表に反した袖」を重ね、クリップで留めます。

※左右の袖を間違えないように、ノッチを確認します。





5 mm切り落としながら 5 mm巾ロックをかけます。



衿付け

「衿」の端を中表に重ね、出来上がり線を直線ミシンで縫い合わせます。
縫い代に切り込みを入れ、表に反します。



裾



「身頃の裾」に 3 mm切り落としながら 5 mm巾の空ロックをかけます。

※脇の縫い代は後に倒します。



「外側になる身頃」を出来上がり線で折り、ステッチをかけます。

※一重仕立てにする場合は、ステッチをかけず、次の工程に進みます。

裾・衿付け

～前立てをロング丈にする場合、もしくは一重仕立てにする場合～

「身頃」と「衿」と中表に重ね、「前立ての端」を「内側の身頃の裾の出来上がり線」に合わせ、「身頃」を「前立ての端」を包むように折り上げます。





前立ての端～反対の前立ての端まで、5 mm切り落としながら 5 mm巾ロックをかけます。

表に反し、出来上がり線をアイロンで折り、ステッチをかけます。



～前立てをショート丈にする場合～

「身頃」と「衿」と中表に重ね、「前立ての端」を「外側の身頃の裾線」に合わせます。



外側の身頃の裾線に合わせます。



「内側の身頃の裾」を出来上がり線で折ります。



5 mm切り落としながら 5 mm巾ロックをかけます。



表に反し、出来上がり線をアイロンで折り、ステッチをかけます。

留め具

ボタンやスナップ等を付けて完成。